

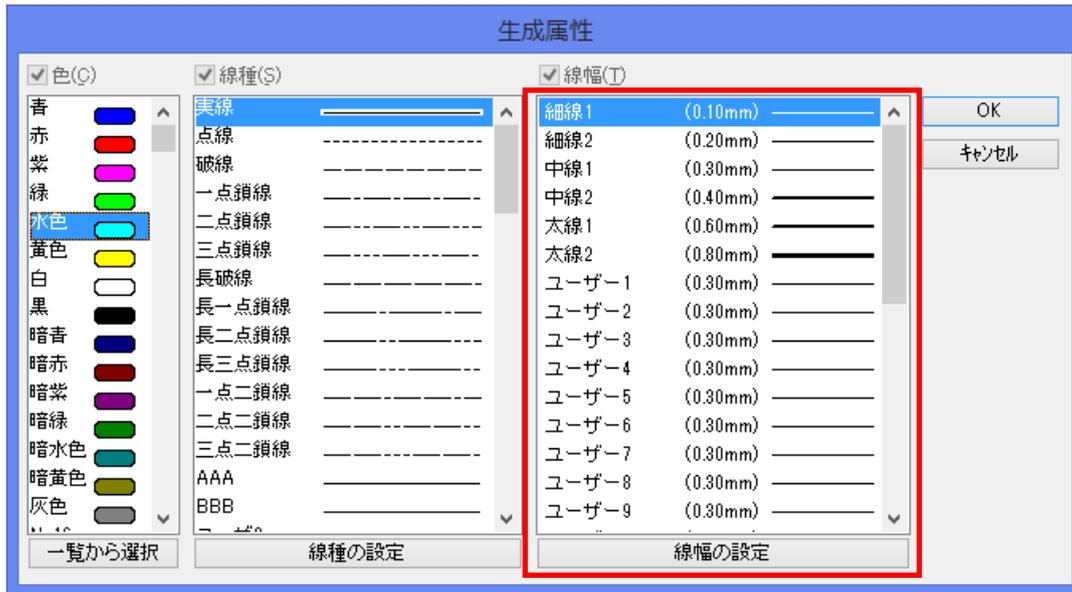
「CRAFT CAD Ver.8」機能アップガイド

I. 機能アップ項目

1. データベース拡張（線幅情報の追加）

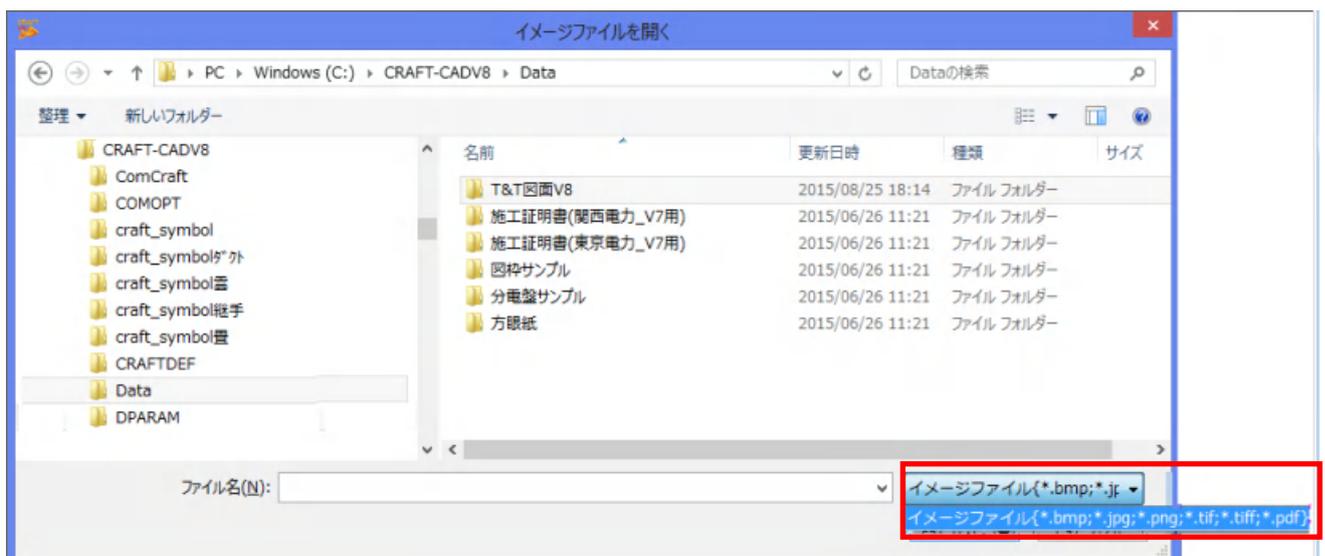
各作画要素に「線幅情報」を保持できるようデータベースを拡張します。

「Ver.7」までの線色毎の線幅設定に加え、「Ver.8」では要素毎に線幅属性を持たせることで、より分かり易いメリハリのある図面を作画することが可能となります。



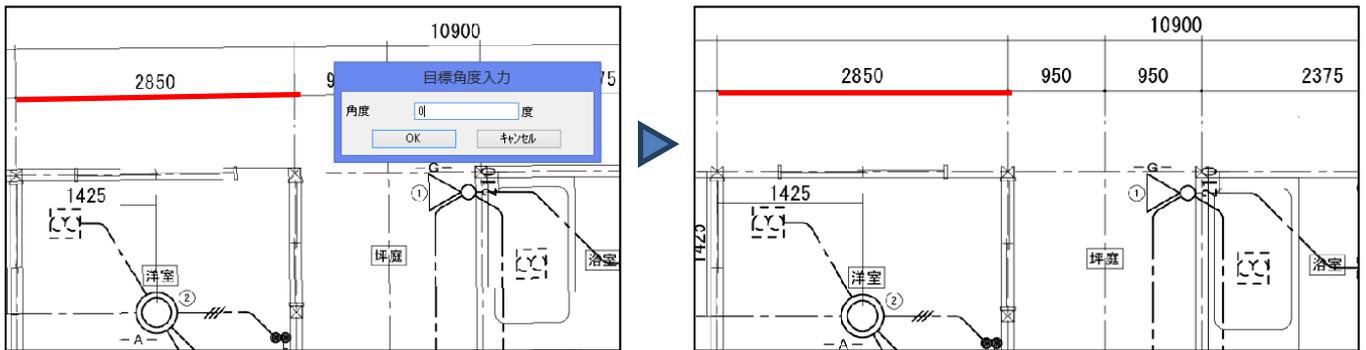
2. 「PDF」「TIFF」「PNG」データの読み込みに対応

「Ver.7」までの「BMP」「JPG」に加え、「Ver.8」では「PDF」「TIFF」「PNG」データの読み込みに対応します。※注意：イメージデータからベクターデータへの変換は行えません。



3. イメージ回転に対応

「CRAFT CAD」図面上に配置しているイメージデータを回転させる機能を追加します。
図面スキャン時に傾いたデータを貼り付けした際、水平方向に補正することが可能となります。



4. 「DWG・DXF」へのイメージ書き出しに対応

「CRAFT CAD」図面上に配置しているイメージデータを「DWG・DXF」形式に書き出しできるように対応します。

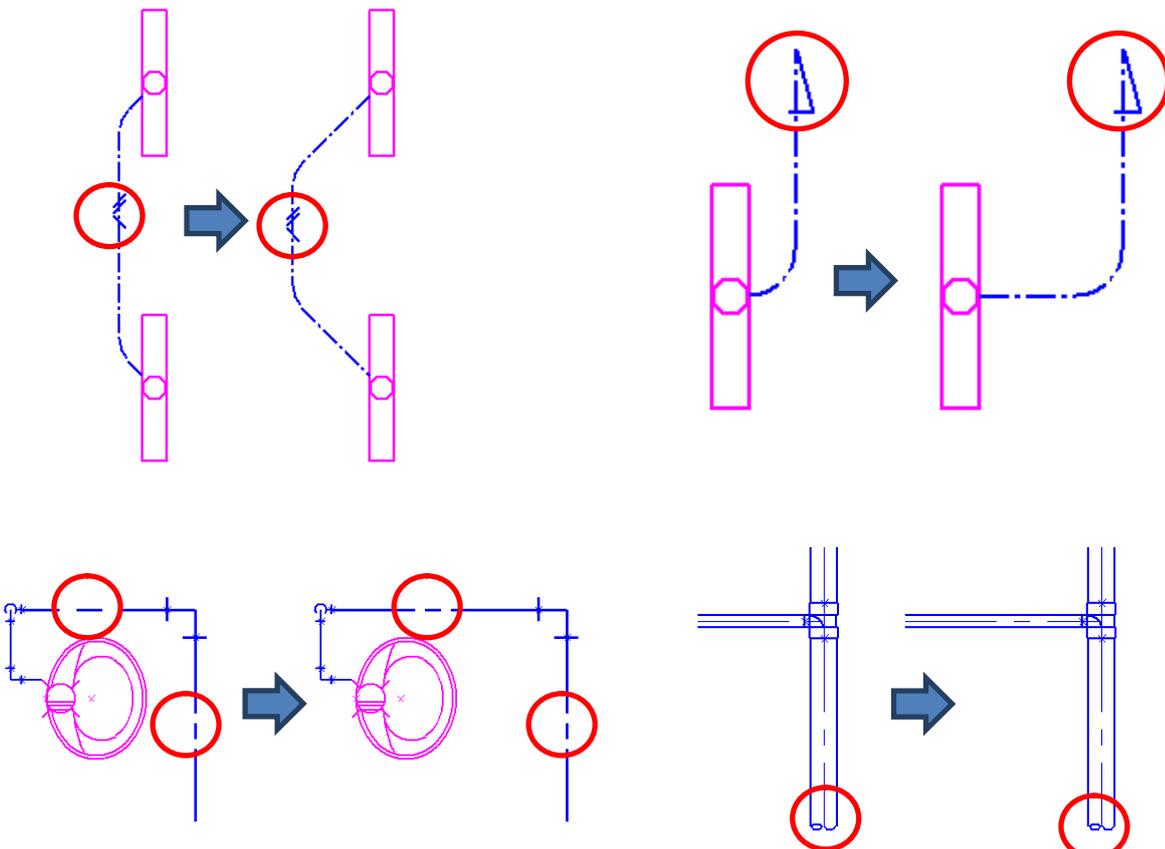
5. 「DWG・DXF」および「JWW」の最新データに対応

「DXF・DWG (Auto-CAD 2016 まで)」「JWW (JW-CAD Ver8 まで)」の読み込み・書き出しに対応します。

6. 経路移動コマンドの強化

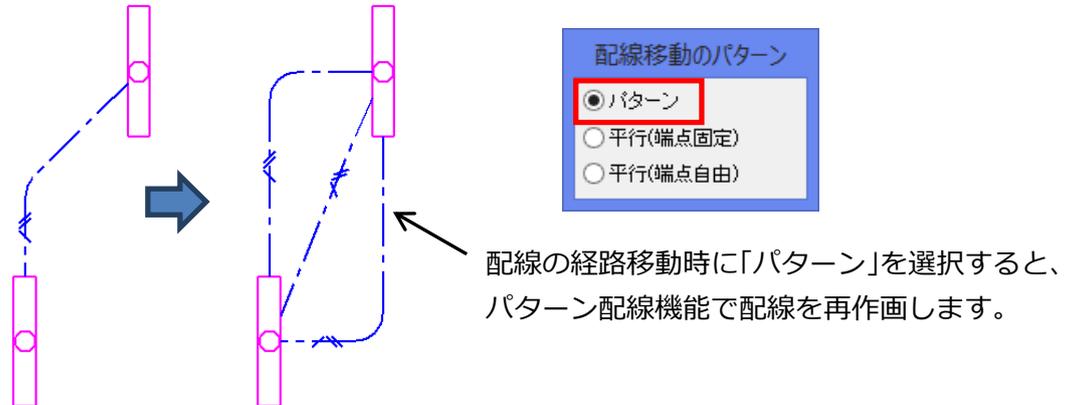
(1) 経路移動後の経路記号, 末端記号の保持に対応

配線やダクト・配管を経路移動した場合、既に付加されている経路記号, 末端記号が移動後も保持されるように対応します。



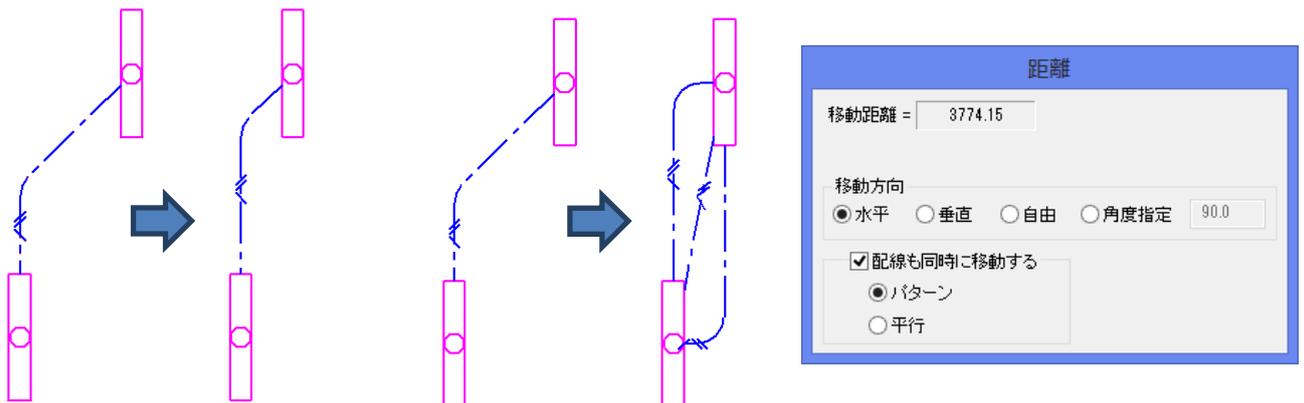
(2) 配線の経路移動の強化

配線を経路移動した場合、これまでの指示した配線を平行移動する機能に加え、新たにパターン配線で再作画する機能を追加します。



(3) シンボル移動時の配線同時移動機能に対応

経路移動コマンドでシンボルを指示した場合、指示したシンボルに接続されている配線も同時に「平行移動」もしくは「パターン配線機能で再作画」する機能を追加します。



7. 開いたファイル・保存したファイルの履歴メニューに対応

「ファイル」メニューにこれまでに開いたファイル・保存したファイルの履歴を表示させる機能を追加します。



履歴を表示させる対象の拡張子は、

- ・全てのバージョンの「CRAFT CAD」ファイル
- ・「DWG・DXF」
- ・「JWW・JWC」形式です。

8. バックアップファイルの自動保存に対応

Ver.7 までは、正常に「CRAFT CAD」が終了すると、自動でバックアップされたファイルは削除されていましたが、「Ver.8」でバックアップファイルを「CRAFT CAD Ver.8」インストールフォルダ内の「Backup」フォルダに蓄積することが可能となります。



9. マルチディスプレイに対応

1台のパソコンに接続されている2台目のディスプレイ（セカンダリーディスプレイ）に「CRAFT CAD Ver.8」を移動させ、作業することが可能となります。

II. 対応 OS

「CRAFT CAD Ver.8」では以下のOSに対応予定です。

- Windows10 (32Bit/64Bit)
- Windows 8.1 (32Bit/64Bit)
- Windows 8 (32Bit/64Bit)
- Windows 7 SP1 (32Bit/64Bit)
- Windows Vista SP2 (32Bit/64Bit)

上記以外のOSには「CRAFT CAD Ver.8」をインストールできません。

III. 動作環境

「CRAFT CAD Ver.8」を実行するため必要な動作環境は以下の通りです。

- CPU : Core2Duo シリーズ同等品以上
- メモリ : 2.0GB 以上
- HDD : 1.2GB 以上
- USB ポート : 必須 (ハードプロテクト用)

IV. 注意事項

- 本機能アップガイドに記載された商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本機能アップガイドに記載の内容は、予告なく変更することがあります。